

ギャンブル依存

その時 家族はどうする？



2018年1月24日(水) 13:30 ~ 16:00

矯風会館1階ホール (JR大久保駅北口徒歩2分) 裏面に地図

カジノ法をめぐって今話題のギャンブル依存症。そもそもギャンブル依存症とはどういうものが、当事者の視点で取り組んでいる講師を通して学ぼう。ギャンブル依存症者には、ヤミ金の借金等、お金の苦労もある。本人はどのように回復できるのか、家族はどういう立場に関わることが望ましいのか、体験談からも多くのことがわかるにちがいない。関心のある方、相談にのることの多い方、あるいはカジノに興味がある方など、どなたでも歓迎です。

講師 田中 紀子 さん

(一般社団法人ギャンブル依存症問題を考える会代表)

体験談 ギャンブラーズ アノニマス GA メンバー

参加無料【定員50名】

参加申込み

新宿区男女共同参画推進センター (ウイズ新宿) まで、
電話 (03-3341-0801、日・祝日除く8:30 ~ 17:00)
または裏面のFAX (03-3341-0740) 申込用紙で。

12月18日(月)
受付開始

お問合せ先 矯風会 電話03-3361-0934 (担当かわたに)

主催：公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会、新宿区子ども家庭部男女共同参画課

講師紹介 田中 紀子 (たなかのりこ)

1964年東京都中野区生まれ。

祖父、父、夫がギャンブル依存症者という三代目ギャンブラーの妻であり、自身もギャンブル依存症と買い物依存症から回復した経験を持つ。

2014年2月 一般社団法人 ギャンブル依存症問題を考える会 代表理事就任。

著書に「三代目ギャン妻の物語 (高文研)」「ギャンブル依存症 (角川新書)」がある。

新宿区立男女共同参画推進センター

(ウイズ新宿)

男女共同参画社会の実現を目指し、区民の意識や関心を高めるためのさまざまな講座やフォーラムを開催している。悩みごと相談室では、相談員が面談(予約制)と電話による相談を受けている(月～土曜日、無料)。その他に会議室、図書資料室あり。都営地下鉄新宿線「曙橋駅」A4出口から徒歩3分。荒木町16番地

日本キリスト教婦人矯風会

1886年12月、キリスト者女性が中心となって設立。

廃娼運動や酒害啓発、女性の参政権獲得、世界平和などの活動を続け、全国の会員がそれぞれの地に女性と子どものための福祉施設を造った。現在は、女性の人権事業を継続するほか、女性の福祉事業として国籍を問わない女性と子どもの緊急避難施設「女性の家 HELP」、居場所をなくした单身女性のための中長期滞在施設「矯風会ステップハウス」を運営している。(2施設は所在地非公表)

アルコール・薬物等アディクション問題の電話相談、グループミーティング等も開催。(無料、予約制) 東京都新宿区百人町2-2 3-5



JR 大久保駅北口下車 徒歩2分
改札を出たら道路(大久保通り)を渡る。
薬局と富士そばの間の細い道に入る。
頭の上にはJRのガードあり。
約20メートル先の右側のクリーム色
4階建ての建物が矯風会館。
正面ドアからお入りください。
JR 新大久保駅からは徒歩5分。

イラスト・デザイン: 大島史子

FAX 申込用紙

送信先 FAX 番号 03-3341-0740 【受付開始: 12月18日(月)～】

2018年1月24日(水)「ギャンブル依存」の講座に参加します。

氏名:

電話番号: